

---

# 第78期 年次報告書

(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

---



証券コード5697

## 株式会社サンユウ

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2024年3月31日をもって第78期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し正常化に向けて動きましたが、長期化するウクライナ情勢や新たなパレスチナでの紛争と円安に起因する資源・エネルギー価格や諸資材の物価高騰などにより厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）の主要需要分野である自動車業界におきましては、半導体をはじめとした部品不足の解消により自動車の生産台数は回復基調にありましたが、2024年1月以降に一部メーカーにおける工場停止があり、減産を余儀なくされました。また、建産機業界では需要の低迷が継続いたしました。その結果、2023年暦年における当業界の生産量は1,556千トンと前年に比し46千トン減少いたしました（前年比2.9%減）。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保、コスト削減及び生産性の向上を推し進めるとともに、資源・エネルギーコストなどの増大を吸収すべく加工賃の是正や製品歩留りの改善、エネルギー単位の削減に努め、収益の確保に取り組みました。

これらの結果、販売数量は一部メーカーの減産影響も顕著に受け99千トン（前期比6.2%減）となりましたが、売上高は前期の値上げ効果の浸透差を主因に24,012百万円（同0.3%増）と増収となりました。一方で損益は、生産・販売数量の減少、並びに前期における母材価格上昇に伴う在庫評価益の戻りの影響を主因として、営業利益は595百万円（同38.4%減）、経常利益は653百万円（同37.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は386百万円（同40.1%減）と減益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は58千トンとなり、売上高は15,220百万円（同4.3%減）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は41千トンとなり、売上高は8,791百万円（同9.5%増）となりました。

当連結会計年度に実施した当社グループの設備投資の総額は298百万円で、その主なものは、連結子会社である大阪ミガキ株式会社における営業所用土地の取得（115百万円）であります。これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、ウクライナや中東情勢を含めた世界経済の先行き不透明感及び更なる諸物価の上昇などの懸念があり、楽観視できない状況にあります。

当業界につきましても、半導体などの一部で需要の増加が見込まれるものの、主要需要分野である自動車・建産機業界において今後の見通しに力強さを欠き、加えて鋼材価格の値上げ並びにエネルギー・副資材の価格上昇や物流の2024年問題などによるコストへの影響が懸念されます。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、鋼材価格の値上げ分などの製品販売価格への確実な転嫁及び保有する生産設備の効率の且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 喜多 章

## 事業の内容

### ●生産

大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある枚方工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

### ●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜ダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しています。また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。

㈱サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

### ●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要なだけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では入出庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、㈱サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ㈱及び大同磨鋼材工業㈱の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

### ●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

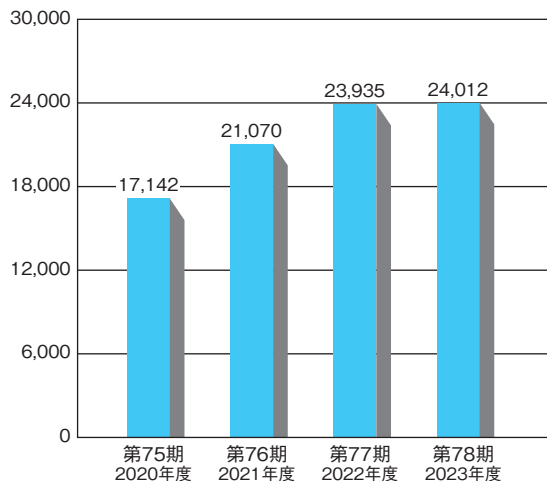
みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜加工等により生産しています。冷間引抜加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜ダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜き一矯正）工程または（表面切削（ピーリング）一矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜機（ドロベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

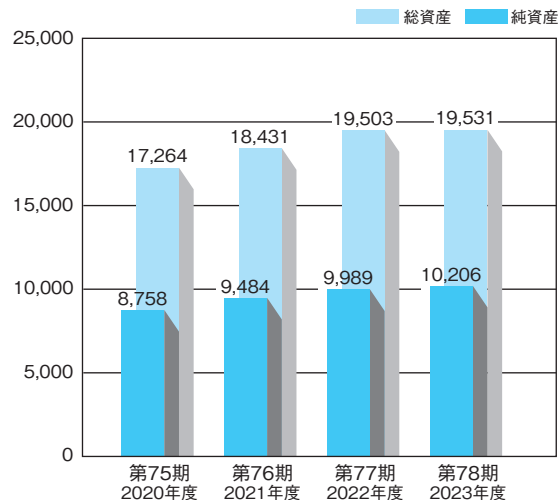
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

## 連結業績の推移

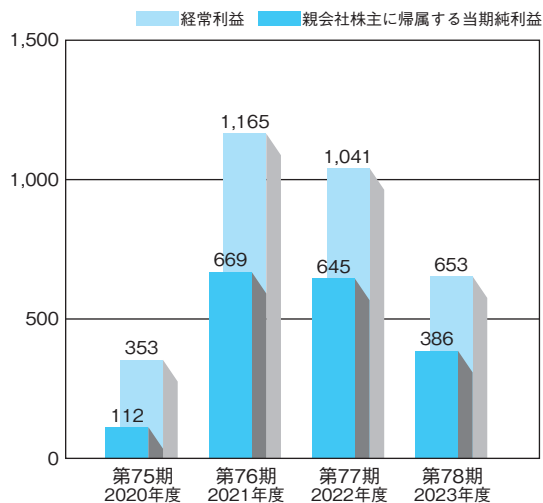
売上高 (単位:百万円)



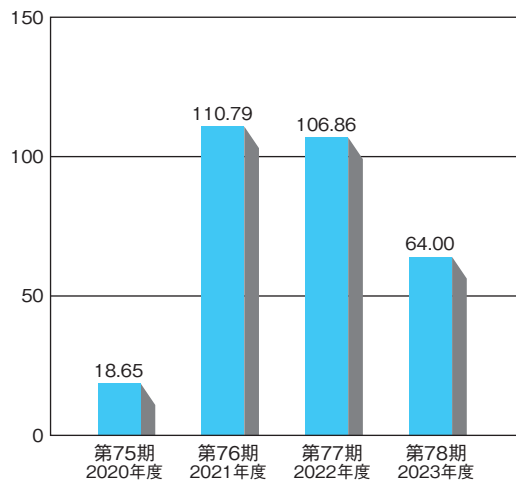
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



## 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表（2024年3月31日現在）

(単位:千円)

科 目	金 額
[ 資産の部 ]	
流動資産	14,167,954
現金及び預金	2,918,087
受取手形及び売掛金	6,013,760
棚卸資産	5,206,403
その他	29,702
固定資産	5,363,431
有形固定資産	4,523,933
建物及び構築物	1,201,031
機械装置及び運搬具	1,205,277
土地	1,981,445
その他	136,178
無形固定資産	59,505
投資その他の資産	779,992
資産合計	19,531,386
[ 負債の部 ]	
流動負債	8,674,611
支払手形及び買掛金	5,898,422
短期借入金	1,780,000
1年内返済予定の長期借入金	158,204
その他	837,985
固定負債	650,437
長期借入金	400,916
退職給付に係る負債	122,506
その他	127,015
負債合計	9,325,049
[ 純資産の部 ]	
株主資本	9,415,684
資本金	1,513,687
資本剰余金	1,303,508
利益剰余金	6,619,928
自己株式	△ 21,439
その他の包括利益累計額	7,895
その他有価証券評価差額金	7,895
非支配株主持分	782,756
純資産合計	10,206,336
負債・純資産合計	19,531,386

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨銅材工業株式会社の2社であります。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

13,853,200千円

連結損益計算書（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	24,012,108
売上原価	20,961,011
売上総利益	3,051,097
販売費及び一般管理費	2,455,431
営業利益	595,665
営業外収益	72,692
営業外費用	14,616
経常利益	653,741
特別利益	5,000
特別損失	6,704
税金等調整前当期純利益	652,037
法人税、住民税及び事業税	230,816
法人税等調整額	△ 13,449
当期純利益	434,670
非支配株主に帰属する当期純利益	47,852
親会社株主に帰属する当期純利益	386,818

(注) 1株当たり当期純利益

64円00銭

連結キャッシュ・フロー計算書（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）(単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,033,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 335,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 399,185
現金及び現金同等物の増加額	299,158
現金及び現金同等物の期首残高	2,618,928
現金及び現金同等物の期末残高	2,918,087

連結株主資本等変動計算書（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,513,687	1,303,508	6,426,531	△ 21,439
当期変動額				
剰余金の配当			△ 193,421	
親会社株主に帰属する当期純利益			386,818	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	193,396	—
当期末残高	1,513,687	1,303,508	6,619,928	△ 21,439

	株主資本	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	9,222,287	5,090	762,057	9,989,435
当期変動額				
剰余金の配当	△ 193,421			△ 193,421
親会社株主に帰属する当期純利益	386,818			386,818
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		2,805	20,698	23,504
当期変動額合計	193,396	2,805	20,698	216,900
当期末残高	9,415,684	7,895	782,756	10,206,336

## 個別財務諸表の要旨

貸借対照表（2024年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額
[ 資 産 の 部 ]	
流動資産	10,848,092
現金及び預金	1,878,410
受取手形及び売掛金	5,052,167
棚卸資産	3,890,045
その他	27,468
固定資産	5,424,652
有形固定資産	3,354,521
建物及び構築物	1,000,141
機械装置及び運搬具	922,933
土地	1,337,540
その他	93,905
無形固定資産	31,027
投資その他の資産	2,039,103
資産合計	16,272,744
[ 負 債 の 部 ]	
流動負債	6,876,462
支払手形及び買掛金	5,364,553
短期借入金	800,000
1年内返済予定の長期借入金	80,700
その他	631,208
固定負債	485,611
長期借入金	322,800
退職給付引当金	79,523
その他	83,288
負債合計	7,362,073
[ 純 資 産 の 部 ]	
株主資本	8,902,661
資本金	1,513,687
資本剰余金	1,317,207
利益剰余金	6,093,206
自己株式	△ 21,439
評価・換算差額等	8,009
その他有価証券評価差額金	8,009
純資産合計	8,910,670
負債・純資産合計	16,272,744

（注）有形固定資産の減価償却累計額

11,198,474千円

損益計算書（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）（単位：千円）

科 目	金 額
売上高	19,608,498
売上原価	17,818,989
売上総利益	1,789,509
販売費及び一般管理費	1,417,998
営業利益	371,511
営業外収益	121,728
営業外費用	8,069
経常利益	485,169
特別利益	5,000
特別損失	6,704
税引前当期純利益	483,465
法人税、住民税及び事業税	148,968
法人税等調整額	△ 11,383
当期純利益	345,879

（注）1株当たり当期純利益

57円22銭



## 会社の概要

2024年3月31日現在

社名 株式会社サンユウ  
 所在地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号  
 電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672  
 設立 1957年1月  
 資本金 1,513百万円  
 従業員数 197名（単体）、306名（連結）  
 事業内容 みがき棒鋼の製造、加工及び販売  
 冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

## 重要な子会社の状況

2024年3月31日現在

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	67.5%	みがき棒鋼の製造及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

## 主な事業所及びネットワーク

2024年3月31日現在

本社（営業店舗） 大阪府枚方市  
 枚方 大阪府枚方市  
 八尾 大阪府八尾市  
 東大阪 大阪府東大阪市  
 九州 熊本県菊池市  
 (工場)  
 枚方 大阪府枚方市  
 八尾 大阪府八尾市  
 九州 熊本県菊池市  
 (子会社)  
 大阪ミガキ(株) 大阪、三重、滋賀の各営業店舗  
 大同磨鋼材工業(株) 広島、福山、岡山、九州、熊本の各営業店舗

本社・枚方・八尾・東大阪

九州

## 役員

2024年6月27日現在

代表取締役社長	喜多章
取締役	荒木克典
取締役	清家徹
取締役	伊豆大助
取締役	清水良寛
取締役	若林嘉幸
常勤監査役	生方徹
監査役	藤田典明
監査役	仲山隆之
上席執行役員	松井亮一
執行役員	笹山英俊
執行役員	向井徹
執行役員	安積光治
執行役員	河村岳史
執行役員	平田裕介

(注) 1. 取締役清水良寛及び若林嘉幸の両氏は社外取締役であります。  
 2. 監査役生方徹、藤田典明及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。  
 3. 2024年6月27日付をもって、西野淳二氏は相談役に就任いたしました。

## 株式の状況

2024年3月31日現在

発行可能株式総数 19,344,000株

発行済株式の総数 6,091,000株

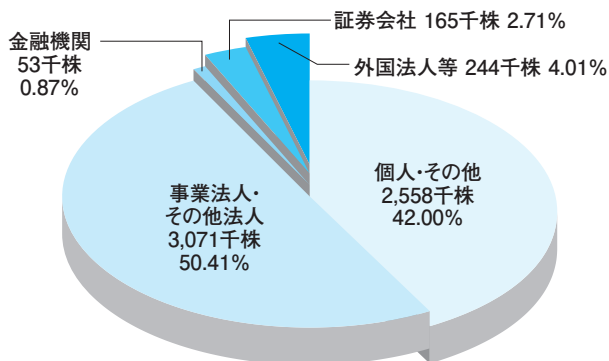
株主数 2,158名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	452	7.49
村岡克彦	272	4.51
日鉄物産株式会社	250	4.14
永田麻里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
サンユウ従業員持株会	179	2.96
柏木伸夫	135	2.25
高島庄二郎	90	1.50
INTERACTIVE BROKERS LLC	71	1.18

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(46,570株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定め  
ます。

公告方法 電子公告により当社ウェブサイト (<https://www.sanyu-cfs.co.jp>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電  
子公告をすることができない場合は、日本経済新  
聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

※受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

### IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信していま  
す。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録(無料)  
いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。



